

2008年11月17日
MR/J49/08



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

「生物多様性の保全維持」をテーマに ゼロエミッションシンポジウムを開催

イベント： ゼロエミッションシンポジウム2008
テーマ： 「ゼロエミッション活動による生物多様性の保全維持」
日時： 2008年11月26日(水) 午前9時30分～午後5時30分
場所： 国連大学本部(東京都渋谷区) 3階、ウ・タント国際会議場
主催： 国連大学、国連大学ゼロエミッションフォーラム (UNU-ZEF)

- 2005年に発効した京都議定書は、世界温暖化問題への国際的取り組みのための重要な一歩だった。一方で現在、それに関連した生物多様性という問題が新たに浮かび上がってきている。生物多様性は、ゼロエミッション構想の目標である、持続可能な社会の形成と維持に向けた世界的な取り組みに影響を与えるだけでなく、またその影響も受けている。
- 私たちの生命や生活は健全な生態系のはたらきに依存しており（食物などの生物資源、水、酸素など）、健全な生態系を保つ上で生物多様性がいかに大切かを十分把握し、その保全をはかるよう努力することがきわめて重要である。生物多様性の重要性が認識され、2008年5月には生物多様性基本法が成立した。また2010年には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開かれる予定である。
- 東京の国連大学本部で開催される2008年のゼロエミッションシンポジウムは、世界温暖化防止に深い関わりのあるゼロエミッションの問題について検証し、生物多様性（健全な生態系）の問題についてさらに深い検討を加えるものである。参加者は、地球環境保護のあり方について話し合い、現在様々な部門で行われている先進的な対策の事例を報告することになっている。
- 午前中のセッションでは、環境省自然環境局局長の黒田大三郎氏により、「生物多様性に関する日本の戦略」についての特別講演が行われ、次いで国連大学副学長の武内和彦氏による「ゼロエミッションと里山：循環、持続可能社会をめざして」、およびコンサベーション・インターナショナル日本代表の日比保史氏による「世界における生物多様性の状況」という2つの基調講演が行われる。
- 午後のセッションでは、株式会社リコー理事・技師長で社会環境本部長である谷達雄氏による「ゼロエミッションと生物多様性：事業から見た係わり」、および鹿島建設株式会社執行役員で環境本部長の塚田高明氏による「生物多様性への事業戦略」と題するプレゼンテーションが行われる。さらに引き続き「市民生活・事業活動と生物多様性」についてのパネルディスカッションが行われる。

本シンポジウムの取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野（やの）までご連絡ください。電話：03-5467-1311、Eメール：media@unu.edu

=====

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

=====

MEDIA ADVISORY